

杉山あつしだより

皆さんの声を県政に！

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第10号（2021年11月15日発行）

静岡市駿河区泉町1-12-202
電話 054-204-1098 FAX 054-282-0143



ご挨拶

県議会議員となり、2年半が経過しました。



毎週2回の早朝街頭報告活動を続け、議会毎に県政便りを発行。大学研究者の協力を得て政策形成プロジェクトを立ち上げ、「女性参画の地域防災」「多文化共生と外国人支援」をテーマに政策作りをしてきました。9月からは「子育て支援とこどもの教育」「学生の貧困対策」の新テーマの活動も始まりました。継続は力なりを念頭に活動を続けていきます。

9月定例会最終日（10月14日）には会派を代表し、「コロナ対策を中心とした補正予算案」の賛成討論を行いました。また、7月29日には3回目の本会議一般質問を無事に終えることができました。県の姿勢を表す答弁内容には大いに不満があり、答弁確認を求めるなど対応をしています。しっかりと報告活動も行っています。

静岡県でもコロナ感染は拡大し、8月19日には過去最高676人の新規感染者を記録。8月8日からまん延防止措置等重点措置、8月20日に緊急事態宣言措置の指定を受けました。9月に入り感染者は急速に減少し、9月30日に指定が解除されています。ワクチン接種の拡大、治療薬の開発などによりコロナ感染が終息することを切望しています。10月22日にはほぼ1年ぶりに新規感染者がゼロとなり、行事・イベントが再開されつつあります。

8月以降飲食店関係者や結婚式関係者から協力金や支援金の相談を多く受け対応しました。最近では、その支給が遅いとの話しを多く伺います。一日も早く支給するよう県議会全体で要請しています。

地元の連合町内会の役員会に地域のことを勉強させてもらうため、挨拶ではなく最初から最後まで参加しました。頻繁に参加させていただき、地域の課題をしっかり勉強していきます。

静岡県議会議員 杉山あつし

●県議会9月定例会、文教警察委員会（9/22～10/14）

本会議一般質問

各会派より活発な質疑が行われました。

一例を紹介します。

- カーボンニュートラルに向けた取組について
(1)民間住宅・企業へのソーラーパネル設置拡大
(2)県立学校へのソーラーパネルの設置拡大

（自民改革会議・加藤元章県議）

- 小学生高学年の学科担任制について

（ふじのくに県民クラブ・沢田智文県議）



杉山あつし・委員会質問

静岡県議会・文教警察委員会で以下の質問を行いました。

教育委員会審査

- 18歳になった高校3年生への主権者教育の必要性
- 来年度に実施する小学生高学年の学科担任制の準備への課題
- 特別支援学校就学希望者に合せての新設と既存学校での分校設置の考え方

警察関係の審査

- 特殊詐欺防止では1人の老人を集団でだます巧妙さがあり、誰でも騙されてしまうという考えに立った啓発の必要性
- 勤務の特殊性に考慮した警察官舎の建替え方針
- 沼津署での拳銃自殺の原因・背景

●地元久能街道の拡幅用地買収の進捗を確認しました(9/9、9/10)

静岡市道路計画課職員に長沼しげお静岡市議と共に用地買収が進んだ久能街道拡幅の進捗を確認しました。南幹線から丸子池田線までの区画の用地取得率は70%、この区間の工事開始は令和5年が目標であるとのことでした。また、市役所河川課に行き、静岡市からの県に対する巴川などの河川と海岸の要望を確認し説明を受けました。市議会議員と連携し、地元の意見を県や静岡市に直接届けていきます。



静岡市役所議員控室

●県大生と清水区観光振興で意見交換(10/5)

静岡県立大学八木健祥教授・ゼミ生6名と、「清水区の観光振興」と「東静岡駅周辺の利用方策」について、県議会主催の意見交換会に参加しました。由比、蒲原地区には、旧五十嵐歯科医院(蒲原)、東海道あかり博物館(由比)など多くの観光スポットや興味をひく施設があり、振興策が課題です。杉山からは労組時代に取り組んだ「静岡再発見ツアー」の話しをさせていただきました。



県庁・議会会議室

●県勤労者協議会研究集会で県政報告(10/6)



労働組合役員OBの多い勤労協役員の皆さんに、最近の政治情勢、リニア問題、コロナ対策を交えた県政報告をさせていただきました。また、県くらし環境部から「リニア新幹線と水資源問題」の講演があり、先輩方と一緒にリニア問題の近況を学習しました。南アルプスは地層が複雑、年間3~4ミリで隆起、地下水水位が300メートル下がることにより希少動物が絶える恐れがあることなどを再認識しました。



●世界気候アクション 静岡市役所前スタンディング(9/24)

脱炭素、ストップ気候危機は待ったなしの課題です。政府のカーボンニュートラルの方針を受け、地方自治体としてもしっかりと行動を行う必要があります。今後も会派でも議論し、静岡県の事業への反映を目指します。



静岡市役所前

●「高校生ピースフォーラム」に参加(9/26)



核兵器廃絶や世界平和を訴える「高校生平和大使」経験者らが主催した高校生ピースフォーラムに参加しました。「静岡県で平和教育を広めるにはどうしたらよいか」「あなたが考える平和とは何か」について議論しました。参加した高校生はしっかりとした平和感を持っており大変頼もしく感じました。

●第6次エネルギー基本計画素案の課題とパブコメ(8/19)



気候危機・自治体議員の会主催の「第6次エネルギー基本計画素案の課題とパブリックコメントの書き方」のオンラインセミナーに参加。「第6次エネルギー基本計画素案では、現在原発依存が6%なのに20-22%に引き上げている」「海外では次の10年が決定的に重要な10年との認識だが、日本ではこの10年は助走期間としており認識が低い」「1.5度の目標と整合しない計画案」などの問題点・課題を確認しました。すでに気候危機・気候崩壊の時代に入ったとの認識を持ち、国の不十分な取組を改善させる方向にすべく頑張っていきます。

自治体議員政策情報センターの「全国政策研究集会(Zoom)」に参加しました。

●全国政策研究集会・分科会(Zoom)(8/26・27)

自治体での地球温暖化対策

講師の田中信一郎氏（千葉商科大学准教授）から、「何故冬が厳しい北海道ではなく、暖かい鹿児島県や静岡県で冬の死亡が多いのか」「今後は光熱費込みで建設費を比較して住宅を建てるべき」「多額の資金がエネルギー代金として海外に流出しているのに地産の自然エネルギーに力を入れないのか」などの提起があり、大いに関心を持ちました。

まず公共施設からはじめ、これからのは箱ものは2030年脱炭素目標を想定したものを建てるべき等これからの議会で発言していきます。



コロナ禍で見えた医療行政の問題点

講師の本田宏医師から、「日本は他国に比べ民間病院が8割と多く、緊急時に無理が効かない」「医師、特に勤務医と看護師不足」「1981年の土光臨調からの医療費亡國論により医療費が抑制された」「2023年から医学部の募集定員を減らすのは問題」「賃金指数、物価指数を下回る診療報酬指数とされ医療費が抑制された」「患者と病院は青息吐息なのに製薬会社は巨大な内部留保」「入院不能を自宅療養、医療崩壊を医療逼迫と言い換えて深刻さが伝わらない」「デンマークでは一番大切なことは『助け合うこと』との教育は素晴らしい」「第5波の陽性率15%超えには徹底的なPCR検査が必要」等が提起されました。



●オリンピック自転車競技の観察(7/24、8/4)

2020東京オリンピックの自転車競技ロードレースとトラック競技を観察しました。静岡県はオリンピックの開催県であり、推進の立場。県議会議員も推進委員会参与に就任していました。トラック競技の会場・ベロドロームでは世界新記録、オリンピック新記録が続出して驚きました。

●停電後のパチンコ・アブリイ富士見台店 警報誤作動で消防に要望(8/23)

4時15分頃の停電直後にパチンコ・アブリイの警報が誤作動し、大音量の警報が周辺に鳴り響きました。大音量の警報は500m先でも聞こえ、消防への通報が複数あったため6台以上の消防車が出動していました。なかなか警報を止められず、一時は大変な騒ぎになり、まさに町内強制起床となりました。自転車で町内を走り回り、消防の方に状況を伝え対応をお願いしました。



●地元公園での援護会草取り活動に参加(8/22、9/26)

昨年12月4日に完成した富士見台2丁目公園の草取り作業に町内会の一員として参加。参加した両日とも雨の翌日で雑草を根っこから多く抜くことができました。



●高松海岸清掃ボランティア・6R県民運動を実践(9/19)



毎月第3日曜恒例ゴミゼロ運動に長女と参加しています。前日の台風の影響なのか、浮遊物としての発泡スチロールのごみが目立ちました。静岡県6R運動のリカバーである清掃活動に毎月協力していきます。(8月・10月は雨天中止)

●秋の交通安全運動・旗持ち活動に協力(9/21)

富士見小学校学区の交通安全運動のぼり旗持ち行動に参加しました。各町内から5人ずつの参加です。SBS通り、駿河総合高校前交差点に30分立ちました。



●連合町内会役員会に参加し、地域の課題を確認(10/2)

富士見小学校区連合町内会の役員会に参加させていただき、緊急事態宣言中の活動自粛の苦労等お話を伺いました。また、石田・連合町内会長からは、今まで交通安全運動に参加していた杉山に対して交通安全協会の帽子とベストを交付していただき、大変嬉しく思います。翌日午前は連合町内会よりお誘いいただいた富士見小シニアクラブの奉仕活動・富士見小草取りに参加しました。PTAの役員退任後の久しぶりの学校奉仕活動への参加で頑張りました。

編集後記

10月に入りコロナの新規感染者が大幅に減少し、静岡県でも10月22日にほぼ一年ぶりに新規感染者がゼロになった(10月25日もゼロ)。10月21日に静岡駅から新幹線で修学旅行に出発した高校生を見かけた。多くの行事が再開することに期待したい。

議会運営委員会の意見書を審議する小委員会(杉山が委員)で、我が会派提案の「技能実習制度と特定技能制度を検証し見直しを求める意見書」と「医学部定員の減数の検討に対して慎重な議論を求める医師確保の意見書」について、自民改革会議から多くの意見が出され、結果として全会派同意が得られず取り下げすることとなった。自民を支援する企業には、外国人人材を技能実習制度で使い続け

たい意向があることや、医学部定員の削減が日本医師会の方針などが影響しているのか。取下げは残念でした。

所属委員会の警察関係で、9月に沼津署内で拳銃自殺が発生した。何か悩みがあったのか。オリバラの警備や熱海土石流の捜索など過重労働が関係しているのか。委員会の中で勤務状況を調査し、報告するよう要請した。

交通事故を起こして被害者に損害賠償せず、裁判所から議員報酬などを差し押さえられた静岡市議会の山本昌輝市議(清水区)に対する辞職勧告決議案が9月15日に賛成多数で可決された。裁判所の命令を無視し、被害者や差押え関連の機関に対し多大な負担をかけており、議員としての資質が問われている。軽い処分で擁護する自民党静岡市議団の対応には疑問です。

■杉山あつし事務所

静岡市駿河区泉町1-12-202

TEL:054-204-1098

FAX:054-282-0143

携帯電話:090-1279-1443

MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp



杉山あつし後援会



ID 461voxcs

討議資料